



そろそろ見納め 校舎玄関の紫陽花

2017年度 学友会入部届 集計

Table with columns for department, grade levels (中1-中3, 高1-高3), total counts, and member names. It is divided into '学芸部' (Arts) and '運動部' (Sports) sections.

✝ 今月の聖句

† Matthew 19:24 & II Corinthians 8:9

24 Again I tell you, it is easier for a camel to go through the eye of a needle than for someone who is rich to enter the kingdom of God.

9 For you know the grace of our Lord Jesus Christ, that though he was rich, yet for your sake he became poor, so that through his poverty you might become rich.

If you ask most people a simple question, "Do you want to be rich?" they would probably answer, "yes!" But if you give the same person some time to reflect upon what it means to be rich and also the process of getting rich, many begin to hesitate.

Even in the time of Jesus, the difference between rich and poor was clear to see. In fact there was often very little "middle ground;" very few rich and lots of poor people, with only a small amount in between.

wanted to show also how impossible the task was. The ideal, that is, not a dead end, but the world God wants us to have is not open to those who need to be rich.

The contrast is not what Jesus said, but what was said about him by Paul. Jesus could easily have been a wealthy ruler by using his charismatic powers. Even more likely, he could have stayed in his carpentry work and been stable, comfortable, and respected.

In this day and age of increasing social division, including a greater concentration of richness in the hands of fewer and fewer people, we may feel confused or even bitter about these conditions.

中学一年便り

夏の始め方

「チケットを取った瞬間、旅が始まる」。某航空会社のCMのフレーズである。君たちは「計画を立てる」ということについて、どんな印象を抱くだろうか。やらされるもの、行動を縛るもの、というネガティブな印象だろうか。しかし、例えば友達と遊びの計画を練っているときはどうだろう。何でもできそうな、楽しい気分になるのではないかな。

「vacation」の「vac」には「空っぽ」という意味がある。学校で授業を受ける必要がない分の、ぼつかりと空いた時間だ。とはいえ、その空いた時間を本当に「空っぽ」のままにしておくのは惜しい。授業がない代わりに、普段できない経験をたっぷりつめ込むチャンスなのだ。部活で夏休みが埋まっている、という人も少なくないと思う。それも貴重な「経験」である。しかし、人が決めてくれたスケジュールだけではなく、自分なりのプランも考えてみてはどうか。勉強、遊び、旅行、読書……選択肢は無限にある。色々なことに手を広げ、自分を深めていってほしい。一方、「夏休み」という時間は有限である。限られた「vacation」の枠の中に、どんなものをつめていきたいか。その取捨選択こそが「計画を立てる」ことの大切さである。何をしたいか、何をすべきか、夏休みの最初にじっくりと自分に問いかけてほしい。旅の醍醐味の半分が計画にあるように、夏休みの価値を決めるのも、その計画なのである。(杉原 望)

中学二年便り

たしかめ

数楽の時間にも言っていますが、方程式を解いた後のたしかめをしているのでしょうか？自分の計算を過信して軽視していないでしょうか？「それよりも他の問題をさっさと解く方が効率的」とか「どうせ間違える時は間違える」と軽んじている人は、本来の目的を見失っているのではないのでしょうか？

人生も同じです。日々の生活の中で考えなしに次々に降りかかる事象を対処するよりも、一度立ち止まって振り返るのが大切です。人間は同じ過ちを繰り返す愚かな生物ですが、それでも過去の自分を振り返って直そうとして間違えたのか、何もせずに前と同じことを繰り返しているのかでは、その後の成長に大きく差が出ます。さて、中学校生活そろそろ折り返し地点。今までの振り返り、自分に足りない点や修正するべき点を見直す、「夏休み」と言う良い機会も与えられています。考えただけで終わった人は十年後も同じ位置に立っているでしょう。先ずは小さな一歩を踏み出してみましょう。(砂井博光)

中学三年便り

夏休み

この夏は、赤いさそり座のアンタレスと濃い天の川で光る魅惑の土星との饗宴が見どころです。七月の夕空には、コペルニクスでさえ見ることできなかつたという噂の水星が見頃です。さて七月夏休み、何ともいえない高揚感というか楽しみな気分、夏祭りも各地であつて、萩野先生もなかなか落ち着いてなどいられません。これが、なぜか八月になると、もう夏休みは終わった、という焦燥感にかられるのが不思議です。ただもう暑くて何も出来ないで過ぎ去った七月をなつかしみ、この暑さでオリンピック的な狂気の沙汰と悪態をつきたくなるのです。そんな夏休みをさて、いかにすごすべきかそれはたっぷりとした時間をとれる夏をいかに味わうか、にかかっています。

油絵を描こうとすると、準備に結構時間がかかり少なくとも二時間はないと仕事になりません。細切れの時間ではできないことに時間をかけられるのが夏休みなのでしよう。何をしたか、わからない、語ることのできない時間をすごすのと、座禅を組んで瞑想をしていた時間とは、何かが違うはず。何かを語れる夏休み、期待しています。(宇津木千秋)

高校一年便り

ポケットの中の海

「ネットサーフィン」という言葉がある。来る波を越えるサーフィンに例えて、インターネット上のウェブサイトを次々に辿って閲覧することを指す言葉だ。インターネットが普及し始めた頃よく使われたが、最近あまり耳にすることがなくなつた。ネットを見ることは、サーフィンに例えるまでもないほど当たり前のことになつたといふことだろうか。今はスマートフォンをひとり一台当たり前のように持つ時代。起動の手間もなく、少しの暇があればすぐにネットに繋がれる。指先ひとつで簡単に情報を手に入れることも、発信することもできる。

去年までは学校に来たらそんな最高に便利な道具を先生に預けなければならなかつた。しかし晴れて高校生となり、君たちはスマホと自由を手にした！……のだろうか。休み時間のたびにスマホをチェック。授業中もポケットが振動するたび集中が途切れる。友達のつぶやきが、「いいね」が気になる……。手にした自由が、囚われてはいないだろうか。高校生になつた今こそ、ぜひインターネットとの付き合い方を改めて考えてみてほしい。ネット上には情報が溢れている。それこそ海のようにどこまでも広く深く、波のように押し寄せる。その中から今本当に必要な情報を見極めて選び取り、活用する力がなければ、たちまち波に翻弄され飲み込まれてしまう。願わくはサーフィンのごとく、立派に情報の波を乗りこなしていただきたい。(中仙道優真)

高校二年便り

進化を

進化という言葉は二通りあり、一つは生物学での用語で、もう一つは「物事が次第に発達していくこと」(三省堂・大辞林)である。この後者の話をしたい。

高校二年生の前期が終了したと言うことは高校生活では折り返し地点に到達した。夏休みにはここで高校生活の振り返りをして貰いたい。ここまで頑張ってきた自分は卒業までに何を成し遂げたいのか、頑張らなかつた自分に対して何を言いたいのか。この先の自分はどうなりたいたのか等々。唯唯怠惰な学生生活を持って余しているこのまますぐ卒業を迎えてしまふ。そうするとどうだろう。大学生活も同じことになりかねないのではないかな。是非皆さんには「進化」をして欲しい。同じ過ちを繰り返すのは人間として生を受けた以上恥ずかしいことである。どんどん自分を進化させて、進化させて大人になってくれることを期待する。自分も「大人から若いうちの苦労を買ってでもせよ」と嫌になるほど言われたものがあるが、実際大人になつてみるとこれが自分の糧になつていくことは大変実感する日々である。といつつ、折角の高校生活である。一番楽しい時期、しつかり楽しんで欲しいというのも私の一つの思いでもある。楽しんで、苦労してしつかり進化して新学期に会えればと思う。(對馬 剛)

高校三年便り

ペイ・フォワード Pay it Forward

最終学年となり、三ヶ月が過ぎようとしている。高校三年生にとっては、高校生活最後の夏であり、テストや学校行事も数える程になつただろう。

すぐそこまで迫っている大学生、その先に訪れる社会人。皆さんはどんな将来像を描いているだろうか。ここで映画「ペイ・フォワード」から、人として生きていく上で大切にしたいことを伝えたい。このタイトルは、人から受けた厚意を受けた相手に返すのではなく、他の誰かに違う形で先贈りして善意を広げていくという意味である。例えば、電車の中でお年寄りの方に席を譲つたり、周りに落ちていた自分のものでないゴミを拾って捨てたりすることも「ペイ・フォワード」である。大切なのは、相手に見返りを求めないこと。私たちは日々欲に支配され、見返りを求めてしまう。テストで良い点数を取ったが褒められない。人助けをしたが感謝されない。なぜ？と思つてしまふ。このように、人はどうしても見返りを求めたがるのだ。しかし、それだけで本当にあなたの人生は豊かになるだろうか。今あなたは「ペイ・フォワード」しているだろうか。私は、見返りを求めずに善意を先贈りすることが、唯一、人の心を豊かにすると信じている。目の前の困っている人を出来る範囲のことで助けたい。誰かのためだけでなく、その行為自体が美德であるから善意を持った行動をする。そうすればきっといつの日か、廻り回つて思わぬ方向から「ペイ・フォワード」が返ってくるだろう。誰よりも謙虚に……(田部達弥)



高2校外学習 日本最北端



中1キャンプ 入笠山登山